

2024
MIYAGI
RECRUIT
GUIDE

宮城県職員ガイド



宮城県職員募集2024

水産

業務紹介

◆ 概要

漁業・養殖業に関する調整、安心・安全な水産物の流通、後継者・担い手の育成など水産業の振興に関する業務のほか、漁場環境の調査や生産から加工・流通までの技術開発などの試験研究も行います。

◆ 勤務先

本庁：水産業振興課・水産業基盤整備課・食産業振興課など
地方機関：沿岸部の地方振興事務所・水産技術総合センターなど

自己紹介①

- ◆ 出身 : 宮城県気仙沼市
- ◆ 入庁までの経歴 : H28.3 県内高校卒業
H28.4 入庁

入庁後の異動歴（現在入庁9年目）

- | | |
|--------|----------------------------------------------|
| H28.4～ | 東部地方振興事務所水産漁港部漁業調整班
漁船登録事務など |
| H31.4～ | 水産業振興課流通加工班
水産加工業に関する補助金交付事務など |
| R4.4～ | 東京事務所行政班・観光物産振興班
省庁との連絡調整、要望活動対応など |
| R6.4～ | 水産業振興課企画推進班
水産庁交付金、水産試験研究の企画及び調整など |

自己紹介②

- ◆ 出身 : 宮城県気仙沼市
- ◆ 入庁までの経歴 : H31.3 県内高校卒業
H31.4 入庁

入庁後の異動歴（現在入庁6年目）

H31.4～ **水産技術総合センター 水産加工開発チーム**

公開実験棟利用に関すること、試作対応、加工相談対応など

R4.4～ **水産林政部 水産業振興課 流通加工班**

水産加工業に関する補助金交付事務、輸出向け施設認定など

志望動機

◆ なぜ公務員？

- ・港町出身のため、水産に関わる仕事がしたかったからです。
- ・生涯続ける事ができ、たくさんの人の役に立てる職種だと思ったので公務員を選びました。

◆ なぜ宮城県庁？

- ・水産業が盛んであることや地元の役に立てる仕事に就きたいと思い、宮城県庁を選びました。

これまでに担当した業務の紹介

- ・漁船の登録や漁業の許可業務
 - ・水産加工業者のニーズに沿った支援
 - ・省庁との連絡調整
-
- ・水産加工業者への技術支援（試作対応や相談対応など）
 - ・水産加工残渣の有効利用に関する研究

現在の担当業務の紹介

- ・庁内関係部局との調整
 - ・水産試験研究機関との連絡調整 等
-
- ・施策支援事業等の情報発信
 - ・水産加工業において、女性が活躍できる体制の構築に関する支援
 - ・輸出向け水産物取扱施設の認定に係る業務

入庁前のイメージとのギャップ

◆ 入庁前のイメージ

- ・デスクワークで黙々と業務をこなしていそう
- ・外へ出る機会はあまりなさそう

◆ 入庁してみたら・・・

- ・イベント等の対応があり、県内外の出張が多い
- ・企業訪問や調査などで県内の水産加工会社や魚市場等へ出向くことが多く、たくさんの知識が得られる

仕事をする上で心がけていること

- ◆ 県民の方々の立場になって考え、真摯に向き合う
- ◆ 疑問に思ったことは小さな事でも周りに相談する
- ◆ 情報収集をたくさんする
- ◆ スケジュール管理

印象に残っている業務

・水産加工業者への支援業務

業務で、様々な水産加工業者とやりとりさせていただき、スーパーやお土産屋さんでその企業の商品が販売されているのを初めて見つけたときは、嬉しかったのを覚えています。

補助金の履行調査や施設等の認定業務で、加工場や漁船を見る機会がありました。普段目にしない光景であり、とても印象に残りました。実際に現場を目にすることで、業務に対する理解が深まり、より具体的なイメージを持つことができ、大変勉強になりました。

仕事のやりがい

- ・商品開発に関する支援や補助金業務等で関わりのあった事業者の皆さんが水産業界で活躍しているシーンを見かけた時にやりがいを感じます。

職場の雰囲気

- ・コミュニケーションが活発で賑やかな職場です。
- ・幅広い知識を備えた先輩方から貴重な知識と技術を学ぶことができます。

宮城県職員の魅力

・宮城県の水産技術職員は、水産試験研究や商品開発・販路開拓支援、水産行政、地方振興事務所での直接漁業者さんと関わる普及指導業務など、業務が多岐にわたるため、宮城県の水産業に幅広く関わる事ができる所が魅力だと思います。

私の公務員試験対策

- ・公務員試験対策の参考書を何度も読み、問題を解けるようになるまで復習しました。
- ・専門科目（水産）については、宮城県の水産関係のパンフレット等から県内の水産業について学びました。

先輩職員からのメッセージ

水産の業務は、水産加工、水産物のPR、試験研究、環境や資源を守る取組など、多方面から携わることができます。さらに水産関係者や県民の方と関わりながらお仕事をすることができ、とてもやりがいを感じる事が出来ます。難しいことがあっても、ベテランの先輩が優しくサポートしてくれます。宮城県の水産業を一緒に盛り上げて行きましょう。